

文理融合シンポジウム

「理系」が未来を変える!

—博士人材の社会貢献とキャリアパス

2009年12月4日(金)

17:45~20:00 (交流会:20:10~21:10)

早稲田大学 西早稲田キャンパス(旧大久保キャンパス)
57号館201教室(交流会:63号館1F カフェテリア)

- 主催: 早稲田大学
政治経済学術院
大学院政治学研究科 ジャーナリズムコース
理工学術院 博士キャリアセンター
- 参加費: 無料
- 参加登録: 事前登録制(<http://www.waseda-pracdoc.jp/>)

日本では初の「理系政権」の誕生が喧伝されている。それによって「理系」の未来はどのように変わってゆくのだろうか。また、「理系」のスペシャリストとしての博士人材は社会でどのように活躍することが期待されるのか。そして、かかる専門人材を養成する大学の課題とは何か。早稲田大学では、大学院政治学研究科において、科学技術ジャーナリストを養成するプログラム(MAJESTy)を実施してきた。一方、博士キャリアセンターでは、理工系研究科の博士人材を主な対象として、アカデミズム以外で将来の国際的リーダーを輩出するプログラムを展開中である。

今回のシンポジウムでは、基調講演に『理系白書』で、「理系」を取り巻く現状を鋭く浮き彫りにした毎日新聞 科学環境部記者の元村有希子氏をお招きし、今後の社会と「理系」の関わりをテーマにご講演いただく。続くパネルディスカッションでは、基調講演での問題提起を受けて、パネリストや会場の方々との討論を通じて、これからの「理系」の未来を考える。

Program プログラム

来賓挨拶

泉 紳一郎 (文部科学省 科学技術・学術政策局長)

基調講演

「21世紀の社会と科学～誰が科学を支えるか?」

元村有希子 (毎日新聞 科学環境部記者)

パネルディスカッション

- パネリスト: 西村 吉雄 (早稲田大学 大学院政治学研究科 MAJESTy 客員教授、元日経エレクトロニクス編集長)
朝日 透 (早稲田大学 博士キャリアセンター 副センター長、理工学術院 先進理工学研究科 教授)
元村有希子 (毎日新聞 科学環境部 記者) その他
- コーディネータ: 瀬川 至朗 (早稲田大学 大学院政治学研究科 ジャーナリズムコース プログラム・マネージャー)

交流会

文理の壁を超え、講師の先生方と親睦をお深めください。

【後援】 早稲田大学

政治経済学術院 理工学術院
ポスドク・キャリアセンター 男女共同参画推進室
GCOEプログラム「アクティヴ・ライフを創出するスポーツ科学」 GCOEプログラム「アンビエントSoC教育研究の国際拠点」
GCOEプログラム「グローバルロボットアカデミア」 GCOEプログラム「実践的化学知」教育研究拠点

【お問い合わせ】

早稲田大学 大学院政治学研究科 ジャーナリズムコース URL: <http://www.waseda-majesty.jp/contact/index.html>
早稲田大学 博士キャリアセンター TEL: 03-5287-6527 / FAX: 03-5287-6528 E-mail: info@waseda-pracdoc.jp